

# 令和2年度 学校法人創志学園 事業計画書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## 【高等教育部門】

### 1. 環太平洋大学

#### ＜事業計画概要＞

建学の精神に基づく教育目的の達成、研究拠点として学術における対外的発信、地域に根差した活動による地域貢献の役割の達成、産学連携を推進した実学教育と社会貢献に努める。

どこにもない大学の対外的評価をさらに高めるべく、より完成度の高い教育成果を生み出す新たな教育活動を設定する。また、中長期的な人事計画と人材育成を行いつつ、IPUNZをはじめとする海外大学との連携・交流や、国内での高大接続の交流事業を積極展開する。さらに、施設・設備を最大限活用して教育研究活動を発展的に向上させ、募集広報活動に最大限活用する。

加えて、大学機関別認証評価の受審に向けた学内体制の整備と、新評価基準への制度や規程の対応を行う。

#### ＜主な事業計画＞

##### 1. 学部・学科の主な取り組み

###### (1) 次世代教育学部 こども発達学科

学科の教育目的に沿った優秀な学生を確保するため、高い公立保育職合格率(R1年度26名の合格)、3コース制(幼児体育コース、幼児英語コース、幼児心理コース)をアピール材料とする。また、表現教育、ICT、人工知能・ロボットを活用した授業により、学生の資質・能力の向上を図る。さらに、学科独自の3つのR(Respect:自己と他者を尊重しよう、Responsibility:応答力・責任・役割を果たそう、Resilience:折れない心・やめない心をつくろう)に基づく教育を推進(非認知面)する。加えて、地域に開く子育て支援事業を通して、学生の保育スキル向上と大学知名度、イメージの上昇に繋げるとともに、公立幼保合格(24名以上)を目指し、私立園希望者は100%の就職率を維持する。

###### (2) 次世代教育学部 教育経営学科

学科の魅力アップのために、「教育心理コース」と「道徳教師塾」のプログラム充実を図るとともに、グローバル化に対応する教員育成として、2年次留学や英検受験を推進する。また、複数免許及び資格取得の強化を図り、副免許の取得率を向上させる。さらに、進路別ゼミにおける徹底した学習・就職指導を強化し、教員採用合格者90名達成を目指す。加えて、「青年教師塾(教育実践学)」「理科教師塾」のプログラムについて更なる充実を図り、高大連携事業を強化し受験生に大学の魅力を発信する。

###### (3) 次世代教育学部 教育経営学科 [通信教育課程]

WEB広報やHPの更新に注力し、個別相談会の効率的な実施により、入学検討者の満足度を高め、出願者数の増加に導く。また、WEB決済システムを拡充して学生の利便性を高め、事務作業の合理化と事務ミスの防止につなげる。さらに、新教務システム導入によるレポート提出のシステム化と紙媒体の廃止し、郵送による各種案内をWEBベースへと移行し、効率化を推進する。

###### (4) 体育学部 体育学科

「水泳I・II」や「雪上実習」「キャンプ実習」のカリキュラムの見直し、及びキャリア教育

とゼミナール活動を切り離れたキャリア教育の再構築を図る。また、R3年度入学生よりコース名称を一部変更し、「教員養成コース」「公務員コース」「競技スポーツコース」「フィジカルコーチコース」「スポーツマネジメントコース」の5コースとする。さらに、スポーツ科学研究の拡充を行うとともに、岡山市や岡山青年会議所と協働で地域におけるスポーツ科学の発信や社会貢献を行い、さらに総合型地域スポーツ（IPUサークル）を改組していくとともに、国内大学（女子栄養大学、岡山学院大学）との「スポーツと栄養」をテーマとした連携や、海外大学との研究の提携による国内外大学連携の推進を図る。

#### (5) 体育学部 健康科学科

柔道整復師国家試験の合格率100%を目指し取組みを強化する。具体的には、4年生への補習による小テストやグループ学習の実施や、柔道整復専門科目の見直し、国家試験対策の予備校講師の招聘等、成績向上と国家試験合格に向けた教育力の向上を図る。また、各学年における小テストの積み重ねと、環トレ柔整の実施や進捗不良学生に対する特別補習を実施する。加えて、コンディショニングルーム、スポーツ科学センターを活用して、入学者確保の取組みを強化しつつ、学生の動向についてメンターを中心に学年主任、学科長と情報を共有しながら注意深く学生を観察・指導し、退学を防止する。

#### (6) 経営学部 現代経営学科

グローバル化する企業活動に貢献できる人材の養成に向け、外部から招聘した客員教授、ゲスト講師による実践的な講義を行うとともに、就職活動に直結する資格取得や語学力強化に重点を置き、インターンシップ派遣先の充実を図る。また、新コースとして「公共経営コース」を立ち上げて、公務員（国家・地方行政職）の受験指導を行う。さらに、入口の定員充足と出口の就職率100%に向け、大学・学部ブランドの確立に向けた広報活動を行い、学科教員の教育・研究力の向上を図るとともに、教員の教育内容の質の向上に取り組む。

## 2. 就職への取組み

- (1) 企業就職においては、翔志会活動の早期組織化により就活ノウハウを早く修得させるとともに、インターンシップの質の向上を目指す。全体の企業就職対象者には、インターンシップ学内合同説明会を開催し、参加を推進するとともに、学科やゼミ、体育会との連携を強化していく。
- (2) 教員採用試験合格者を増加させるべく、キャリアデザイン、キャリアサポート、教員採用試験対策講座等や、個別、グループ指導をきめ細かく実施し、卒業生・通信教育の学生をあわせて合格に導くように指導する。また、ゼミの先生と密に連携して学生へのサポート体制を充実するとともに、指導内容や指導方法について各指導担当者の共通理解を図りながら連携して指導にあたる。
- (3) 公務員採用試験の合格増に向けて、遠隔地受験にバスツアーを継続実施し、受験機会を創出するとともに、公安職希望の学生と行政職希望の学生における相互受験を推奨する。また、行政職公務員の合格対策として、予備校WEB講座を利用するとともに、支援室教員が映像授業の補習指導を行うことで、さらなる合格実績につなげていく。

## 3. 学生支援に関する取組み

#### (1) 学生サポートセンター

各種奨学金の採用や事務手続の円滑な運営、学生の課外活動の支援や東京オリンピックのボランティア参加への支援等により学生生活支援の充実化を図る。学生指導の諸問題については、全学的な学生指導体制を確立し、IPU生としてのモラルをもって生活できるように指導する。

#### (2) 体育会

有望なスポーツタレントの獲得に向け、情報の収集・分析とタイムリーなアプローチを行うとともに、各部の成績向上、スポーツ科学センターを活用した研究実績に基づく効果的な練習環境の整備を図る。また、学内及び地域への貢献活動を充実させ、さらに東京オリンピックに向けた取り組みを実施する。

### (3) 学友会

学友会の諸活動や学園祭、クラブ・サークル活動（体育会以外）への支援・助成の充実を図る。

## 4. 募集戦略

- (1) アドミッションセンターの業務内容の再整理を行い、各メンバーの業務分掌の再設定を行う。
- (2) 効果的な広報手法（WEB、SNS、イベント、マスメディア）のバランスの見極めを行い、効果については高い精度の検証を行うことにより広報戦略を見直していく。
- (3) 募集における出願実数の拡大と、すべての学科の定員充足を目指し、募集チームにおける戦略の設計と月次での進捗管理、全体戦略の明確化を行い、国内と国外での募集戦術の連携を図る。
- (4) 大学共通テストの会場受入れの準備・対応とともに、本学入試の運営方法の改善を図る。

## 5. 施設・設備の活用

- (1) 校舎「DISCOVERY（ディスカバリー）」を活用した非認知能力教育の実践と、新たな双方向教育の開発と実現に向けて各学科での企画を実施し、学外に教育と研究の成果を発信する。
- (2) スポーツ科学センター「INSPIRE」を活用した研究活動の取組と研究成果の発信を行うとともに、地域の研究拠点としての産官学連携の取組や、地域貢献としてのイベント活動や教育研究の広報発信によって大学の評価を高める。

## 6. 研究に関する取組み

- (1) 研究紀要を年2回発行するとともに、研究発表会の実施等により研究のサポート体制を一層充実させ、科研費の獲得等について積極的に支援を行っていく。
- (2) スポーツ科学センターを新たな拠点とする研究の取組と、産業界や他大学（連携協定締結）との共同研究等を推進し、研究内容の対外発信を行う。

## 7. FD・SDに関する取組み

- (1) アセスメント・ポリシーの仕組みづくり（機関レベル）として、IR機能の実質化（処理技術の向上、IR分析機能の共有、IT環境の整備など）、学生FD・学生SDの実質化、教職員総会における目標・課題の共有と業務改善の促進を図る。
- (2) アセスメント・ポリシーの仕組みづくり（カリキュラムレベル）として、学科・語学・教養別によるカリキュラム・マネジメント、シラバスに基づく単位の実質化、成績評価の平準化、認証評価への対応を図る。
- (3) アセスメント・ポリシーの仕組みづくり（授業レベル）を行うため、アクティブ・ラーニング型授業の開発、ICT活用技術の向上、同時双方向型・オンデマンド配信型授業の開発、学修ポートフォリオの導入、授業改善のための新学務システムの導入を図る。

## 8. 評価及び業務の合理化等に関する取組み

- (1) 大学予算の効率的運営と業務の合理化から、管理経費の見直しや省エネルギーの徹底、IT化の推進を実施する。

- (2) コンプライアンスの徹底を図るため、公的研究資金の不正使用防止、個人情報保護及びハラスメント防止対策等に関するFD・SD研修や啓発活動の充実を図る。
- (3) 日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価の受審に向けて、資料整備と評価書作成、及び学内体制や諸規程・制度の再点検、11月の実地調査に向けた受審準備を行う。
- (4) 高等教育無償化（高等教育の修学支援新制度）の実施に伴う諸事務手続、受付体制や要件に応じた成績管理等について学内での体制を整備していく。

## 2. 東京経営短期大学

### <事業計画概要>

社会に出て通用する学生の育成を目指し、ホスピタリティ精神及び協調性を身につけさせ、進路決定率100%を維持する。また、海外に目を向け、異文化理解を深めるために、短期留学プログラムの充実や海外大学3年次編入学を可能とする内部整備を行う。さらに、国際教育の充実を図るため、新たにスイス、スペインの海外大学とのMOU締結を進めるとともに、四年制大学編入サポートシステムの確立や公務員試験対策塾「志高会」を開講して、合格率及び進路内定率の向上を目指す。

### <主な事業計画>

#### 1. 経営総合学科

「デジタル&ファッション」ユニットを新設し、実体験型ゼミナールの充実を図るとともに、1年次10月に実施するキャリア合宿の内容充実・深化を図り、就職対策を行う。また、1年次の簿記検定取得率一般生90%、留学生75%を目指す。

#### 2. こども教育学科

「保育実習」「教育実習」の事前・事後教育の充実を図り、実習を通じて即戦力を身につけさせる。具体的には、One to One対応を基本として実習センターにおける学生支援体制の強化を図るとともに、近隣の7協力園との連携を密にして実習事前指導の強化も図る。また、1年次の保育実習事前「スキルアップ学習」の内容充実・深化を図る。さらに、学生全員が幼稚園教諭・保育士「ダブル資格取得」を目指すため、公務員試験対策塾「志高会」の授業実を敷るとともに、こども教育関連及びビジネス資格、英語の取得を目指す。

#### 3. 学生募集

こども教育学科においては、早期のアプローチが重要であることから、主に4月から7月までの学内行事、教育実習成果、各種資格取得状況等を高校へ発信し、早期にAO入試、指定校入試で入学定員確保を目指す。

また、経営総合学科においては、高校、日本語学校への在学生報告を定期的(年4回ニューズレター発行)に実施し、資格取得・四年制大学編入・公務員対策の取組と実績報告を発信する。

その他、欧州、アジア(中国以外)向けにはフェイスブックへの投稿方法と内容を刷新する。

#### 4. 進路支援の強化

(1) 1年次12月までの各種資格取得指導を徹底し、1年次の年明けからの就職活動に備える。

(2) キャリアセンター主催の学内企業説明会を1年次2~3月に開催し、春休みを活用した就職指導期間を設けて優良企業への就職へと導く。

(3) 教育実習先幼稚園や保育園への就職に向けて、教育実習のレベル向上を目指した学生指導を行う。

(4) 「スタートダッシュ研修」を2年生内定取得者対象に実施し、就職事前スキルアップを目指す。

### 3. 環太平洋大学短期大学部

#### <事業計画概要>

学生満足度の向上のため、学生主体で達成感のある活動になるよう、これまでの活動行事（真珠の核入れ・玉出し、ガイヤカーニバル、マリン・スキー実習、学園祭）に加え、IPU との交流（学友会、保育実習、表現教育、体育会交流等）を深めるとともに、IPU 教員の協力のもと、岡山県での集中講義を設定し、質の高い授業と学習環境により学生の満足度を高める。

さらに、学生サポート体制の向上のため、精神的に弱い学生や目的意欲を喪失する学生の支援のために、自己表現力やコミュニケーション力を重点的に育成するとともに、教職員研修を通じて学生の情報を学科全体で共有し、さらなる効果的な学生サポート体制を検討する。

#### <主な事業計画>

##### 1. IPU との授業・行事連携の推進

- (1) IPU 教員による集中講義を実施（「日本国憲法」「英語 I」「教育経営論」）
- (2) 学園祭・スポーツデー・ガイヤカーニバル等の行事への相互参加
- (3) 附属幼稚園・元気の泉保育園での4大生と短大生の合同実習（9月実施予定）
- (4) IPU 公務員講座のTV授業の実施、体育会・ダンスサークルの合同練習、学友会同士の交流

##### 2. 体育会強化指定2クラブのサポート強化

1学年のみの部員数となる体育会強化クラブ（ソフトボール・ハンドボール）において、全日本インカレ出場、及び1・2回戦突破を目標とするために、練習環境を整え、怪我による脱落者のないようフィジカル面・メンタル面のサポートを強化する。

##### 3. 各種業務の周到かつ迅速な対応

- (1) 全員卒業・就職進学100%を確実に達成する。  
単位不足による留年をさせないよう、各ゼミ教員が授業の出席状況や学習面での躓きをこまめに把握し卒業までの学習フォローを行う。また、年間通じて就職セミナーを実施し、基礎学力指導を徹底して指導することにより、大学編入・公務員希望者の合格率100%を目指す。
- (2) 短大設備の整理
  - ① インフラの再整備（元気の泉保育園敷地分との分離工事）
  - ② 備品の整理（他事業所での再利用検討・廃棄処分見積もり等）
  - ③ 要保管書類・教務関係書類等の整理

#### 【その他の設置校】

##### 4. 環太平洋大学短期大学部附属幼稚園

ヨコミネ式教育法を基盤に「心の力」「学ぶ力」「体の力」を育てるとともに、仏サンマリー幼稚園との交流により、国際感覚を豊かにする。また、認定こども園化を見据えて、元気の泉保育園との連携を強化した教育計画を実施する。

##### 5. クラーク記念国際高等学校

インターナショナルコース及び国際コースの体制を強化し、海外大学進学に向けた学校設定科目の開発を行うとともに、WEBコンテンツの活用や大学・企業との連携強化を図る。また、ネット授業

と PBL を組み合わせた自律型学習のコースを新たに展開する。

## 6. 専修学校 クラーク高等学院天王寺校

5つの専攻ごとに専門的かつ進路に繋がるカリキュラム教育を実施するとともに、学力向上に向けた生活指導、生徒の自主活動、基本的な学習環境を整える。また、主要3科目のレベル別授業において、各レベルでの生徒の学力とペースにあった学習体制の強化を図る。

## 7. 専修学校 クラーク高等学院大阪梅田校

プログラミングコースと海外大学進学コースを新設するとともに、5つのコースで特化した教育を展開する。また、特化型教育と教科横断型教育を実現するためにカリキュラム改革を行う。加えて2020年度より文学・サイエンス専攻を開設するため、総合進学コースの教育改革を行う。

## 8. 専修学校 クラーク高等学院名古屋校

「社会で生徒がより良く生きる」態度や素養を育むことを目標として、学力向上だけでなく、夢見る力や自立する力の育成を図る。具体的には、海外大学進学を含む大学進学だけでなく、キャリアⅡの新カリキュラム導入、産学連携商品開発のプロジェクト強化を行う。

## 9. 創志学園高等学校

生活習慣の自律と学習習慣の自立を図るとともに、全科において生徒一人ひとりの夢実現に向け、教育活動の充実を目指すことを教育方針として、引き続き創学ゼミとの連携強化による学習システムの導入及び映像による個別指導強化等により岡山大学を含めた国公立大学及び関関同立以上の私立大学への合格実績数を伸ばす。また、特別進学コース、フロンティアコースだけではなく、看護科においても海外での短期留学を推進し、生徒に生きた英語力とグローバルな感覚を身につけさせる。

## 10. 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ

グローバル社会で「リエゾン」として活躍できる人材（人と人をつなぎ、異文化理解とホスピタリティを活かしてより高い付加価値を生む人材）を育成する。そのために「ホスピタリティ」科目及び「異文化コミュニケーション講義」を全コースへ導入する。また、海外4か国6大学とのMOU教育提携に加えて、スイス、スペインの大学ともMOU教育提携を締結し、ハワイ、スペイン等での海外研修実施を目指す。

## 11. 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ 福岡校

専門課程においては、企業に受け入れられる学生を輩出するべく、学習指導・生活指導・進路指導を強化する。資格試験、就職の実績を活用した広報体制を構築し、学生募集の安定化を図る。

高等課程においては、学力向上・進路決定の成果向上のため、国際教育と表現教育の充実を図る。国際教育は2020年度に新専攻立ち上げに向けた取組み、表現教育は美術・芸術大学進学対策をカリキュラムに多く組み込むことで、学習環境を整える。

## 12. 日本健康医療専門学校

「卒業後に責任を持つ教育の実践」を教育目標として掲げ、鍼灸・柔道整復学科は3年次12月までに全員就職内定、国家試験合格率100%を達成する。また、スポーツトレーナー養成コースを発展させた新コースの設置を目指す。さらに、ライフケア学科は就職率100%の維持するため、外部講師による講義及び卒業生による就職先での活動報告等で学生の意識を変えてキャリアアップを図る。

以上